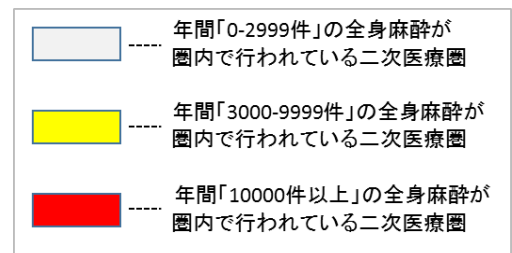
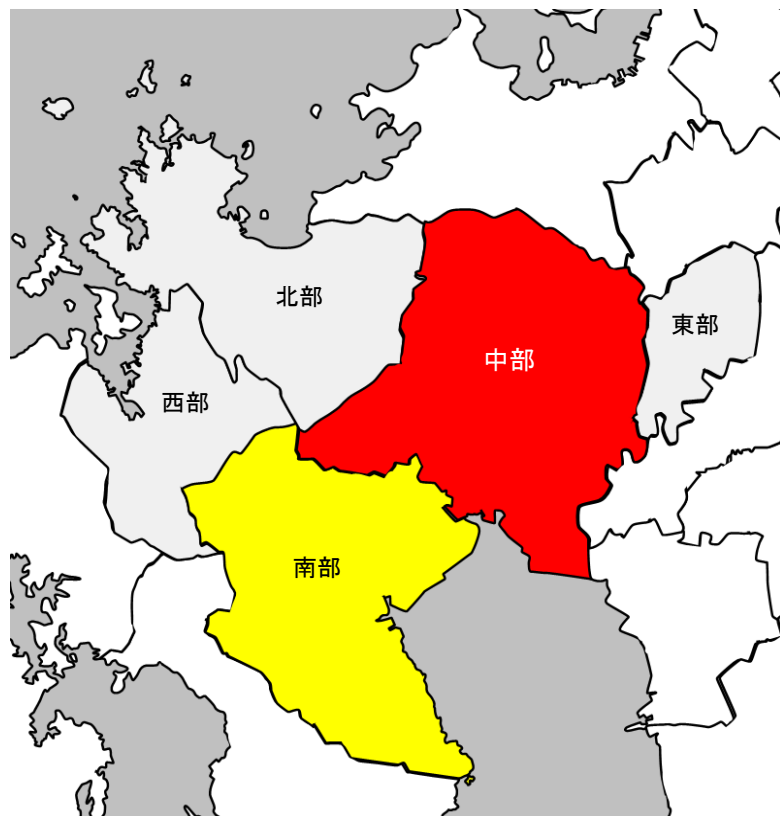


# 41. 佐賀県

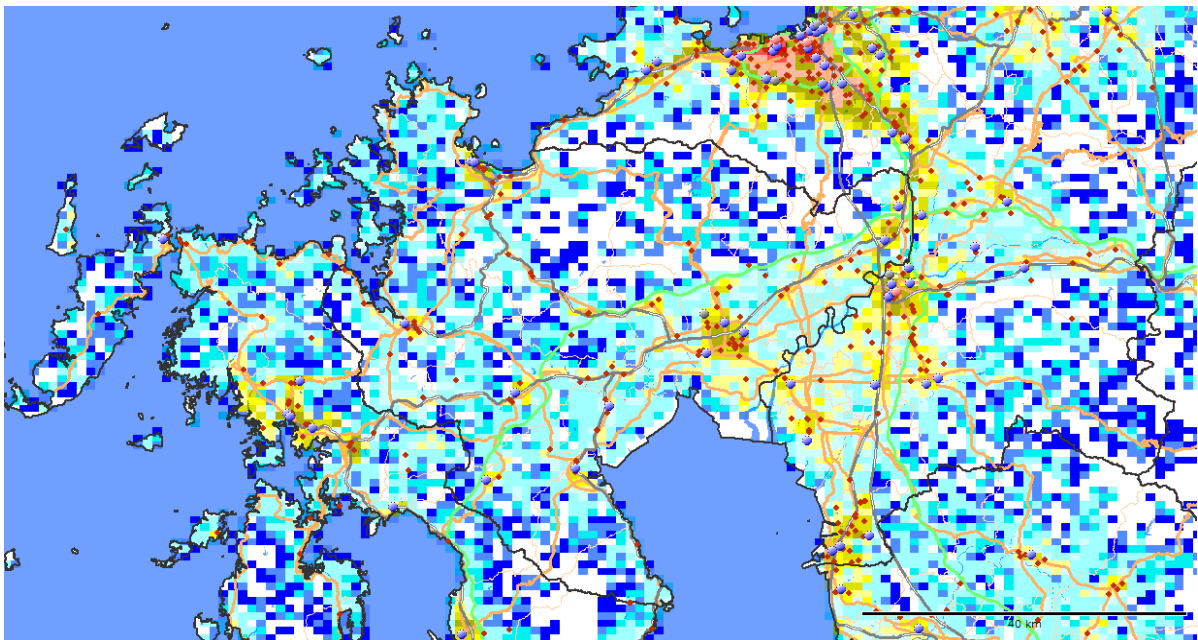


目次

佐賀県	41	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	41	-	8
1. 中部医療圏	41	-	20
2. 東部医療圏	41	-	25
3. 北部医療圏	41	-	30
4. 西部医療圏	41	-	35
5. 南部医療圏	41	-	40

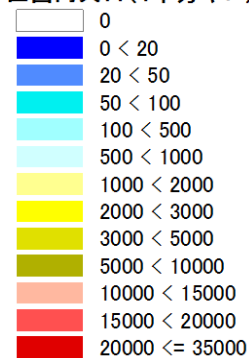
# 41. 佐賀県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (佐賀県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 佐賀県は、総人口約833千人(2015年)、面積2,441km<sup>2</sup>、人口密度は341人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 佐賀県の総人口は2025年に785千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に697千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の121千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には154千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 佐賀県の一人当たり医療費(国保)は433千円(偏差値67)、介護給付費は277千円(偏差値56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 佐賀県の一人当たり急性期医療密度指数は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数は1.95で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数53、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値67と非常に多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 佐賀県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,596人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が7,453床(偏差値50)、高齢者住宅等が4,143床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11,369人(75歳以上1,000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム45、軽費ホーム47、グループホーム62、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,001人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

佐賀県の総人口は、2005年866,369人が、2015年に832,832人と4%減少し、2025年の人口が784,789人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

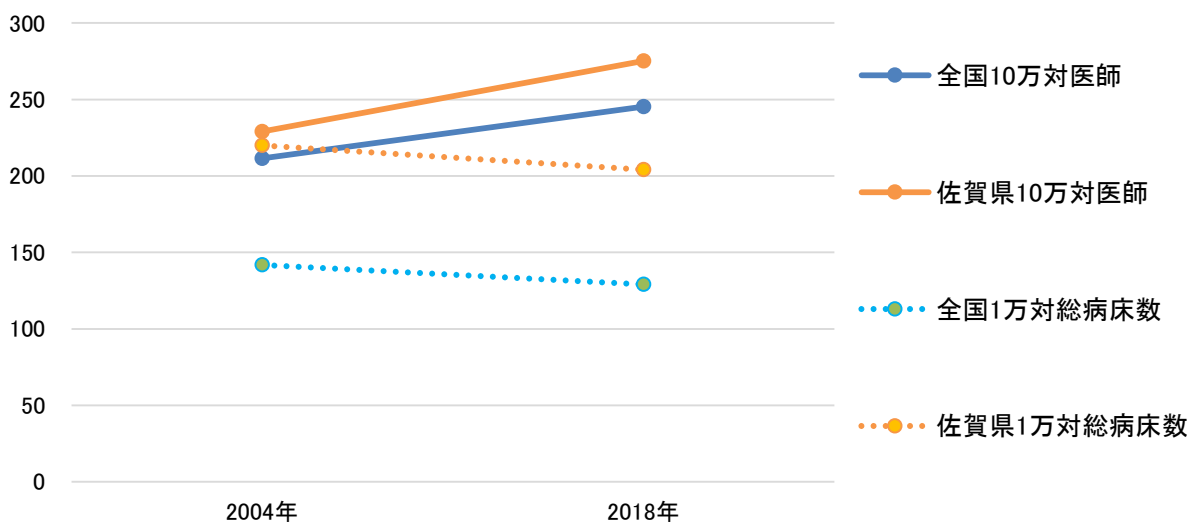
2004年の病院数が112(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2018年に103(人口10万人当たり12.4病院(全国平均6.6)偏差値65)となり、14年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が678(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に689(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値51)と、11診療所が増加した。

2004年の総病床数が19,063床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2018年に17,005床(人口1万人当たり204(全国平均129)偏差値64)と、2,058床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

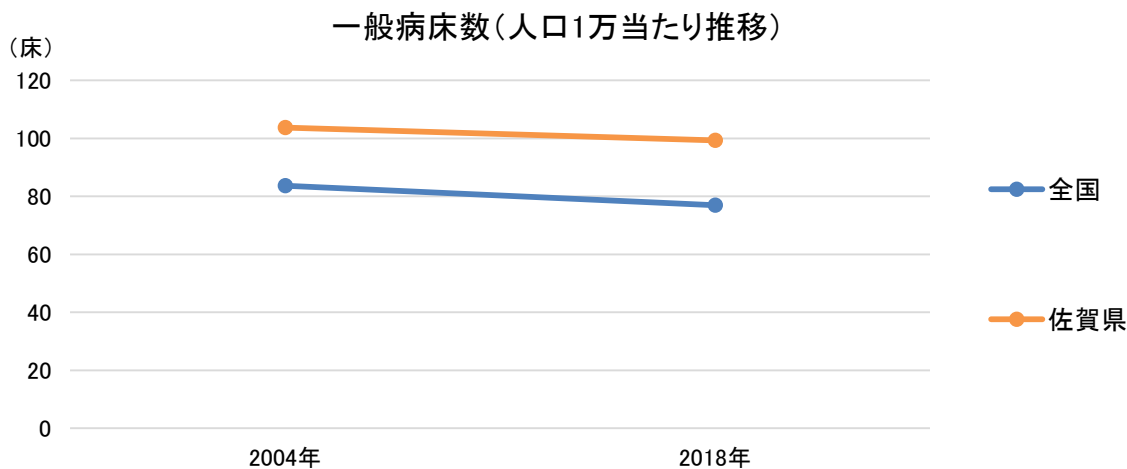
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,985人(人口10万人当たり229人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2018年に2,293人(人口10万人当たり275人(全国平均245人)偏差値53)と、308人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



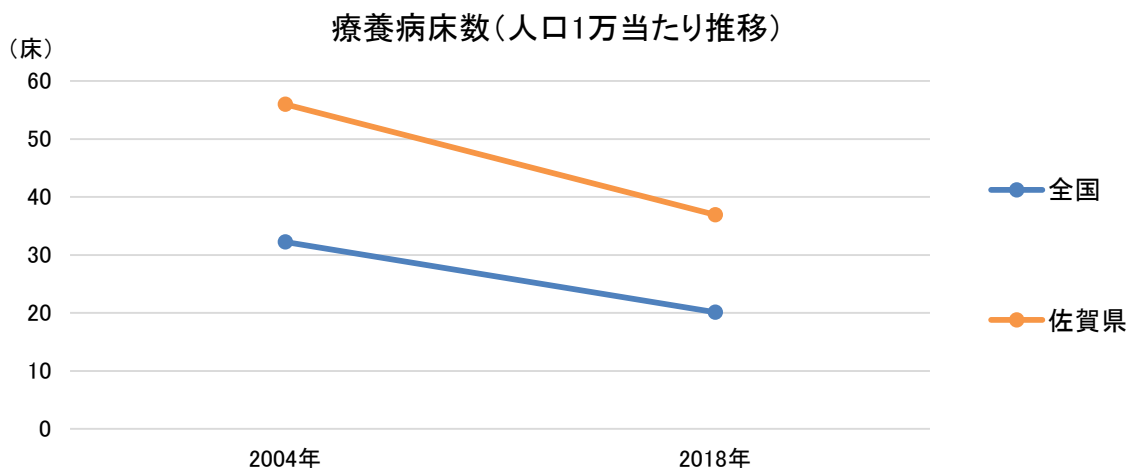
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8,981床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2018年に8,266床(人口1万人当たり99(全国平均77)偏差値59)と、715床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



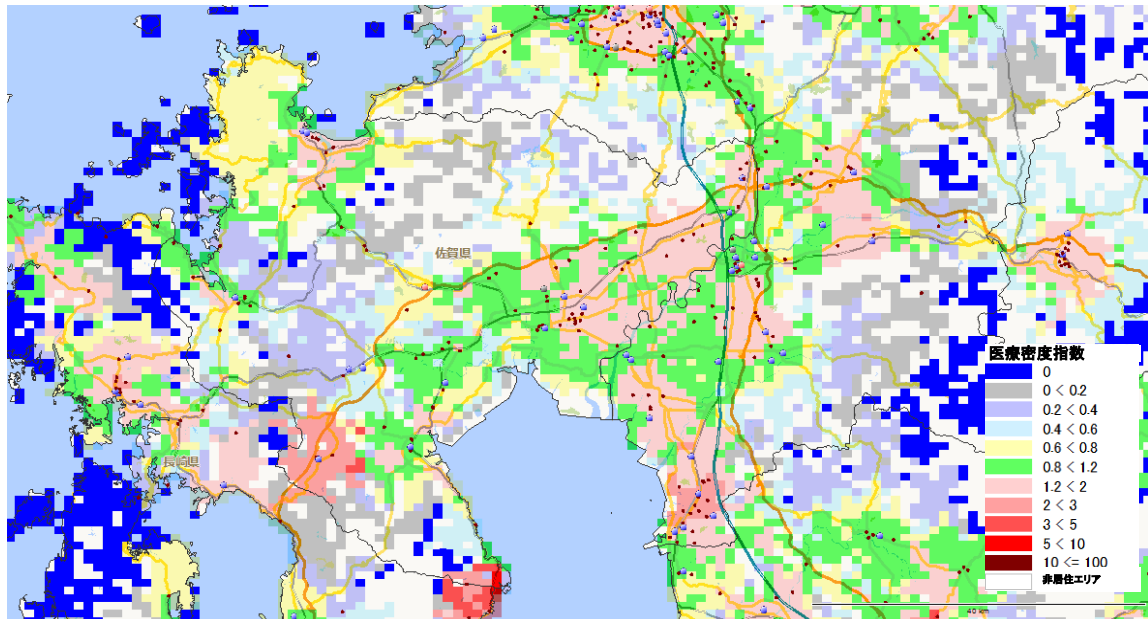
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5,475床(75歳以上1,000人当たり56(全国平均32)偏差値63)であったが、2018年に4,465床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均20)偏差値65)と、1010床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



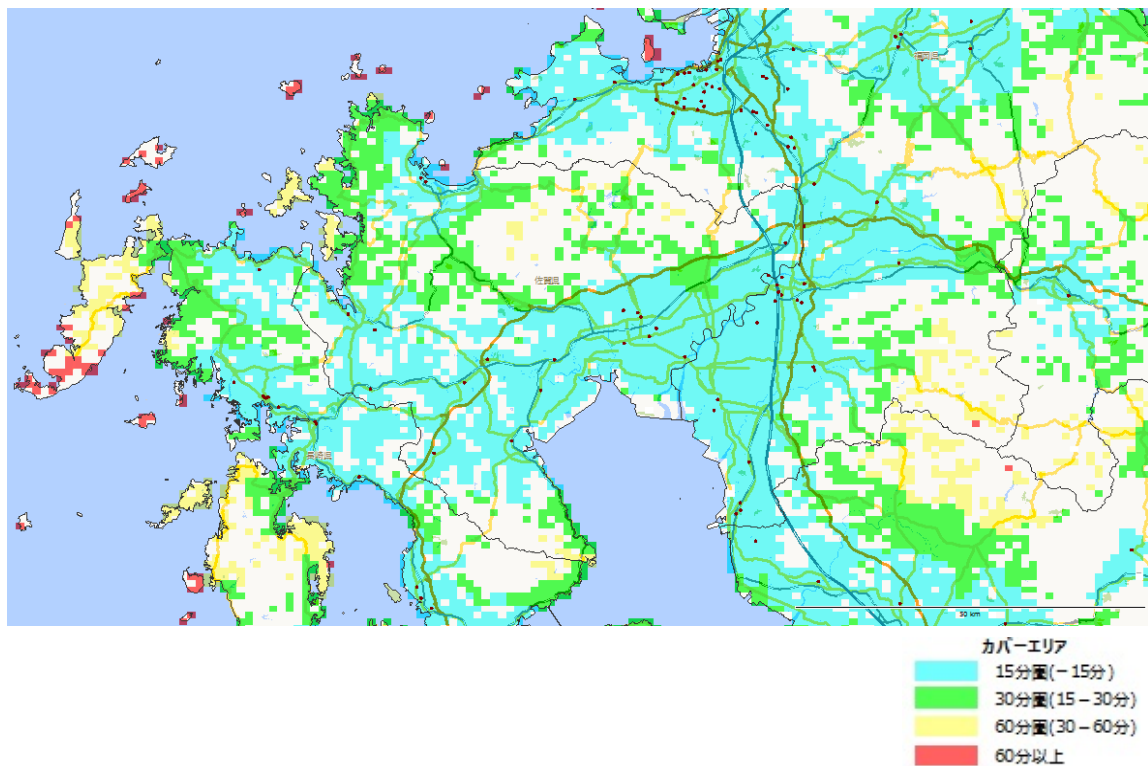
## (佐賀県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表41-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



41.佐賀県(2019年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 41-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
佐賀県	833	42位	2,441	42位	341.2		28%	785	697	121	143	154	-6%	-11%	18%	8%
中部	349	42%	794	33%	439.2	地方都市型	26%	335	306	47	58	63	-4%	-9%	23%	9%
東部	125	15%	159	6%	788.0	地方都市型	25%	125	118	15	21	23	0%	-6%	40%	10%
北部	129	15%	524	21%	245.8	地方都市型	29%	118	99	20	23	24	-9%	-16%	15%	4%
西部	75	9%	321	13%	234.8	地方都市型	29%	69	58	12	13	14	-8%	-16%	8%	8%
南部	155	19%	644	26%	241.0	地方都市型	30%	139	115	26	28	30	-10%	-17%	8%	7%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 41-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
佐賀県	1.10	1.95	11,055	11,598	-4.9%
中部	1.18	1.93	4,088	4,677	-14.4%
東部	1.35	1.69	1,709	1,679	1.8%
北部	0.97	2.82	1,858	1,825	1.8%
西部	0.85	2.50	1,042	1,091	-4.7%
南部	0.95	1.87	2,358	2,326	1.4%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 41-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
佐賀県	433	67	1.207	194	68	1.396	213	62	1.098	277	56
中部	429	67	1.201	182	64	1.310	221	67	1.146	272	55
東部	472	76	1.268	218	76	1.506	228	70	1.129	240	46
北部	409	62	1.157	187	65	1.355	199	54	1.045	282	58
西部	421	65	1.151	199	69	1.391	200	54	1.009	289	60
南部	438	69	1.225	207	72	1.481	205	57	1.062	301	64
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 41-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
佐賀県	1,060	61	1.128	579	61	1.208	448	55	1.052
中部	1,069	62	1.139	564	60	1.182	470	61	1.098
東部	1,125	66	1.211	627	66	1.342	463	59	1.083
北部	968	53	1.041	505	54	1.064	435	52	1.032
西部	1,036	59	1.098	617	65	1.273	394	41	0.925
南部	1,086	63	1.145	618	65	1.267	435	52	1.019
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 41-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
佐賀県	103	1.2%	12.4	65	689	0.7%	83	51
中部	39	38%	11.2	62	308	45%	88	54
東部	13	13%	10.4	60	107	16%	86	53
北部	18	17%	14.0	69	100	15%	78	49
西部	11	11%	14.6	70	60	9%	80	50
南部	22	21%	14.2	69	114	17%	73	46
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 41-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	102,105		80	(19.0)			75	(18.9)			5.5	(5.8)
佐賀県	689	0.7%	83	51	536	0.6%	64	44	153	2.2%	18.4	72
中部	308	45%	88	54	249	46%	71	48	59	39%	16.9	70
東部	107	16%	86	53	88	16%	70	48	19	12%	15.2	67
北部	100	15%	78	49	78	15%	61	42	22	14%	17.1	70
西部	60	9%	80	50	45	8%	60	42	15	10%	19.9	75
南部	114	17%	73	46	76	14%	49	36	38	25%	24.5	83
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 41-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,546,554		1,217	(476)			75	(91)			1,291	(530)
佐賀県	14,743	1.0%	1,770	62	2,262	2.4%	272	72	17,005	1.0%	2,042	64
中部	5,809	39%	1,666	59	865	38%	248	69	6,674	39%	1,914	62
東部	2,349	16%	1,880	64	268	12%	214	65	2,617	15%	2,094	65
北部	2,094	14%	1,627	59	317	14%	246	69	2,411	14%	1,874	61
西部	1,294	9%	1,716	60	244	11%	324	77	1,538	9%	2,040	64
南部	3,197	22%	2,060	68	568	25%	366	82	3,765	22%	2,426	71
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 41-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数				精神 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	890,712		701	(223)			251	(200)			259	(209)
佐賀県	6,332	0.7%	760	53	4,137	1.3%	497	62	4,220	1.3%	507	62
中部	3,100	49%	889	58	1,235	30%	354	55	1,466	35%	420	58
東部	690	11%	552	43	853	21%	683	72	772	18%	618	67
北部	836	13%	650	48	643	16%	500	62	611	14%	475	60
西部	484	8%	642	47	476	12%	631	69	330	8%	438	59
南部	1,222	19%	788	54	930	22%	599	67	1,041	25%	671	70
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 41-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
佐賀県	696	0.9%	84	54	595	0.7%	71	51
中部	247	35%	71	52	202	34%	58	49
東部	166	24%	133	65	159	27%	127	59
北部	116	17%	90	56	23	4%	18	44
西部	72	10%	96	57	68	11%	90	54
南部	95	14%	61	49	143	24%	92	54
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 41-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
佐賀県	4,033	3,280	215	10,614	2,993	3,914	52.3%	53	5.2%	50
中部	2,372	1,787	89	3,342	1,279	1,110	58.3%	55	7.4%	51
東部	331	301	0	2,014	389	853	43.6%	50	0.0%	48
北部	553	463	86	1,541	373	557	55.4%	54	13.4%	54
西部	318	274	40	976	210	436	56.6%	55	8.4%	51
南部	459	455	0	2,741	742	958	38.0%	48	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 41-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
佐賀県	17,808	0.8%	2,138	55	6,480	0.7%	778	52
中部	9,444	53%	2,709	62	2,364	36%	678	48
東部	1,008	6%	807	39	492	8%	394	37
北部	2,568	14%	1,996	53	1,032	16%	802	53
西部	564	3%	748	38	900	14%	1,194	68
南部	4,224	24%	2,722	62	1,692	26%	1,090	64
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 41-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
佐賀県	2,293	0.7%	275	53	1,560	0.7%	187	53	733	0.7%	88	53
中部	1,288	56%	369	64	926	59%	266	64	362	49%	104	59
東部	225	10%	180	43	116	7%	93	40	109	15%	87	52
北部	280	12%	218	47	192	12%	149	48	88	12%	68	44
西部	122	5%	162	41	70	4%	93	40	52	7%	69	45
南部	378	16%	244	50	256	16%	165	50	122	17%	79	49
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 41-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
佐賀県	232	0.8%	27.9	54	100	0.7%	12.0	52	70	0.6%	8.4	49
中部	143	62%	41.0	66	62	62%	17.8	64	41	59%	11.8	57
東部	16	7%	12.8	41	10	10%	8.0	44	3	4%	2.4	34
北部	31	13%	24.1	51	10	10%	7.8	43	8	11%	6.2	43
西部	11	5%	14.6	43	5	5%	6.6	41	7	10%	9.3	51
南部	31	13%	20.0	47	13	13%	8.4	45	11	16%	7.1	46
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 41-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
佐賀県	35	0.6%	4.2	49	60	0.6%	7.2	48	47	0.6%	5.6	49
中部	19	54%	5.4	54	34	57%	9.8	56	27	57%	7.7	57
東部	4	11%	3.2	44	7	12%	5.6	43	5	11%	4.0	43
北部	3	9%	2.3	40	6	10%	4.7	40	4	9%	3.1	40
西部	3	9%	4.0	48	3	5%	4.0	38	1	2%	1.3	33
南部	6	17%	3.9	47	10	17%	6.4	46	10	21%	6.4	52
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 41-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
佐賀県	76	0.8%	9.1	54	150	0.7%	18.0	51	155	0.9%	18.6	61
中部	38	50%	10.9	59	77	51%	22.1	57	90	58%	25.8	77
東部	12	16%	9.6	55	13	9%	10.4	40	19	12%	15.2	54
北部	7	9%	5.4	44	19	13%	14.8	46	19	12%	14.8	53
西部	1	1%	1.3	33	13	9%	17.2	50	6	4%	8.0	39
南部	18	24%	11.6	61	28	19%	18.0	51	21	14%	13.5	51
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 41-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
佐賀県	48	0.8%	5.8	54	57	0.8%	6.8	56	51	0.9%	6.1	55
中部	23	48%	6.6	58	29	51%	8.3	62	21	41%	6.0	54
東部	4	8%	3.2	42	6	11%	4.8	47	13	25%	10.4	68
北部	9	19%	7.0	60	9	16%	7.0	56	5	10%	3.9	47
西部	3	6%	4.0	46	3	5%	4.0	44	0	0%	0	35
南部	9	19%	5.8	54	10	18%	6.4	54	12	24%	7.7	60
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 41-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
佐賀県	57	0.8%	6.8	53	9	0.5%	1.1	48	34	0.8%	4.1	53
中部	40	70%	11.5	67	7	78%	2.0	57	26	76%	7.5	69
東部	3	5%	2.4	40	0	0%	0	37	2	6%	1.6	42
北部	2	4%	1.6	37	1	11%	0.8	45	3	9%	2.3	45
西部	3	5%	4.0	44	0	0%	0	37	1	3%	1.3	40
南部	9	16%	5.8	50	1	11%	0.6	43	2	6%	1.3	40
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 41-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
佐賀県	14	0.6%	1.7	49	22	0.8%	2.6	53
中部	10	71%	2.9	59	11	50%	3.2	57
東部	2	14%	1.6	49	2	9%	1.6	46
北部	1	7%	0.8	42	3	14%	2.3	51
西部	0	0%	0	36	1	5%	1.3	44
南部	1	7%	0.6	41	5	23%	3.2	57
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 41-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
佐賀県	11,907	1.0%	1,430	68	8,972	1.0%	1,077	65	2,935	1.3%	352	75
中部	5,205	44%	1,493	71	3,849	43%	1,104	66	1,356	46%	389	80
東部	1,690	14%	1,353	66	1,261	14%	1,009	62	429	15%	343	73
北部	1,641	14%	1,275	63	1,250	14%	972	60	391	13%	304	68
西部	1,004	8%	1,332	65	752	8%	998	61	252	9%	334	72
南部	2,367	20%	1,525	72	1,859	21%	1,198	70	508	17%	327	71
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 41-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
佐賀県	1,719	1.2%	206	67	1,941	0.6%	233	49
中部	558	32%	160	59	946	49%	271	53
東部	420	24%	336	90	320	16%	256	51
北部	209	12%	162	59	255	13%	198	45
西部	177	10%	235	72	112	6%	149	41
南部	355	21%	229	71	308	16%	199	46
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 41-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
佐賀県	128	0.9%	1.1	54	15	1.0%	0.1	55	84	0.7%	0.7	49
中部	46	36%	1.0	52	6	40%	0.1	55	29	35%	0.6	46
東部	30	23%	2.0	74	4	27%	0.3	73	17	20%	1.1	68
北部	23	18%	1.1	56	0	0%	0	37	13	15%	0.6	47
西部	5	4%	0.4	39	1	7%	0.1	49	10	12%	0.8	56
南部	24	19%	0.9	51	4	27%	0.2	58	15	18%	0.6	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 41-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
佐賀県	11,596	0.7%	96	44	7,453	0.7%	62	50	4,143	0.6%	34	44
中部	4,465	39%	94	44	2,854	38%	60	49	1,611	39%	34	44
東部	1,847	16%	120	59	865	12%	56	46	982	24%	64	63
北部	1,858	16%	92	42	1,231	17%	61	50	627	15%	31	42
西部	1,053	9%	89	40	718	10%	60	49	335	8%	28	40
南部	2,373	20%	90	41	1,785	24%	68	55	588	14%	22	37
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 41-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
佐賀県	2,866	0.8%	24	52	3,612	0.6%	30	44	975	1.9%	8.1	63
中部	1,246	43%	26	56	1,320	37%	28	42	288	30%	6.1	58
東部	240	8%	16	38	495	14%	32	46	130	13%	8.5	64
北部	440	15%	22	49	698	19%	35	49	93	10%	4.6	54
西部	240	8%	20	46	360	10%	30	44	118	12%	9.9	68
南部	700	24%	27	57	739	20%	28	42	346	35%	13.2	76
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 41-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
佐賀県	1,112	0.5%	9.2	45	100	0.4%	0.8	47	2,360	1.2%	19.5	62
中部	369	33%	7.8	44	50	50%	1.1	48	815	35%	17.2	58
東部	260	23%	17.0	52	50	50%	3.3	59	504	21%	32.9	86
北部	170	15%	8.4	44	0	0%	0	43	457	19%	22.7	68
西部	135	12%	11.4	47	0	0%	0	43	189	8%	15.9	56
南部	178	16%	6.8	43	0	0%	0	43	395	17%	15.0	54
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 41-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
佐賀県	571	0.2%	4.7	36	30	0.1%	0.2	43	541	0.2%	4.5	37
中部	377	66%	8.0	40	0	0%	0	42	377	70%	8.0	42
東部	168	29%	11.0	44	30	100%	2.0	52	138	26%	9.0	44
北部	0	0%	0	30	0	0%	0	42	0	0%	0	31
西部	11	2%	0.9	31	0	0%	0	42	11	2%	0.9	32
南部	15	3%	0.6	30	0	0%	0	42	15	3%	0.6	32
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 41-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
佐賀県	1,510	0.9%	12.5	58	1,160	1.0%	9.6	62	351	0.6%	2.9	46
中部	509	34%	10.8	50	383	33%	8.1	54	126	36%	2.7	44
東部	198	13%	12.9	60	132	11%	8.6	57	65	19%	4.3	57
北部	229	15%	11.4	53	180	16%	8.9	59	49	14%	2.4	41
西部	170	11%	14.3	66	138	12%	11.6	73	32	9%	2.7	44
南部	405	27%	15.4	71	326	28%	12.4	77	79	22%	3.0	46
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 41-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
佐賀県	12,371	0.8%	102	59	11,369	0.9%	94	64	1,001	0.5%	8.3	40
中部	4,889	40%	103	60	4,412	39%	93	63	477	48%	10.1	44
東部	1,523	12%	99	56	1,379	12%	90	60	144	14%	9.4	42
北部	2,223	18%	110	66	2,103	18%	104	74	120	12%	6.0	36
西部	1,234	10%	104	60	1,145	10%	96	66	89	9%	7.5	39
南部	2,502	20%	95	52	2,331	21%	89	59	170	17%	6.5	37
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 41-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
佐賀県	10,834	0.9%	90	54	1,441	0.3%	12	34	7,359	0.7%	61	47
中部	4,774	44%	101	57	621	43%	13	35	4,728	64%	100	63
東部	2,390	22%	156	73	307	21%	20	40	710	10%	46	41
北部	1,679	15%	83	52	133	9%	7	31	745	10%	37	37
西部	362	3%	30	37	157	11%	13	35	361	5%	30	34
南部	1,629	15%	62	46	223	15%	8	32	815	11%	31	34
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 41-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
佐賀県		866,369	832,832	-4%	784,789	-9%	6%	3%	8%
中部	地方都市型	359,589	348,633	-3%	334,637	-7%	7%	4%	11%
東部	地方都市型	119,859	124,964	4%	124,843	4%	16%	9%	26%
北部	地方都市型	137,854	128,687	-7%	117,546	-15%	3%	0%	3%
西部	地方都市型	79,760	75,386	-5%	68,830	-14%	4%	0%	4%
南部	地方都市型	169,307	155,162	-8%	138,933	-18%	0%	-2%	-2%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 41-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
佐賀県	112	12.9	65	103	12.4	65	-9	-8%
中部	39	10.8	60	39	11.2	62	0	0%
東部	14	11.7	62	13	10.4	60	-1	-7%
北部	19	13.8	67	18	14.0	69	-1	-5%
西部	14	17.6	77	11	14.6	70	-3	-21%
南部	26	15.4	71	22	14.2	69	-4	-15%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 41-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
佐賀県	678	78	51	689	83	51	11	2%
中部	308	86	55	308	88	54	0	0%
東部	99	83	53	107	86	53	8	8%
北部	111	81	52	100	78	49	-11	-10%
西部	50	63	43	60	80	50	10	20%
南部	110	65	45	114	73	46	4	4%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 41-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
佐賀県	1,985	229	52	2,293	275	53	308	16%
中部	1,079	300	61	1,288	369	64	209	19%
東部	189	158	44	225	180	43	36	19%
北部	245	178	46	280	218	47	35	14%
西部	129	162	44	122	162	41	-7	-5%
南部	343	203	49	378	244	50	35	10%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 41-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
佐賀県	19,063	220	64	17,005	204	64	-2,058	-11%
中部	7,632	212	63	6,674	191	62	-958	-13%
東部	2,760	230	66	2,617	209	65	-143	-5%
北部	2,786	202	61	2,411	187	61	-375	-13%
西部	1,730	217	63	1,538	204	64	-192	-11%
南部	4,155	245	69	3,765	243	71	-390	-9%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 41-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
佐賀県	8,981	104	57	8,266	99	59	-715	-8%
中部	4,203	117	62	3,876	111	63	-327	-8%
東部	1,026	86	51	920	74	49	-106	-10%
北部	1,230	89	52	1,071	83	52	-159	-13%
西部	672	84	50	675	90	55	3	0%
南部	1,850	109	59	1,724	111	63	-126	-7%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 41-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

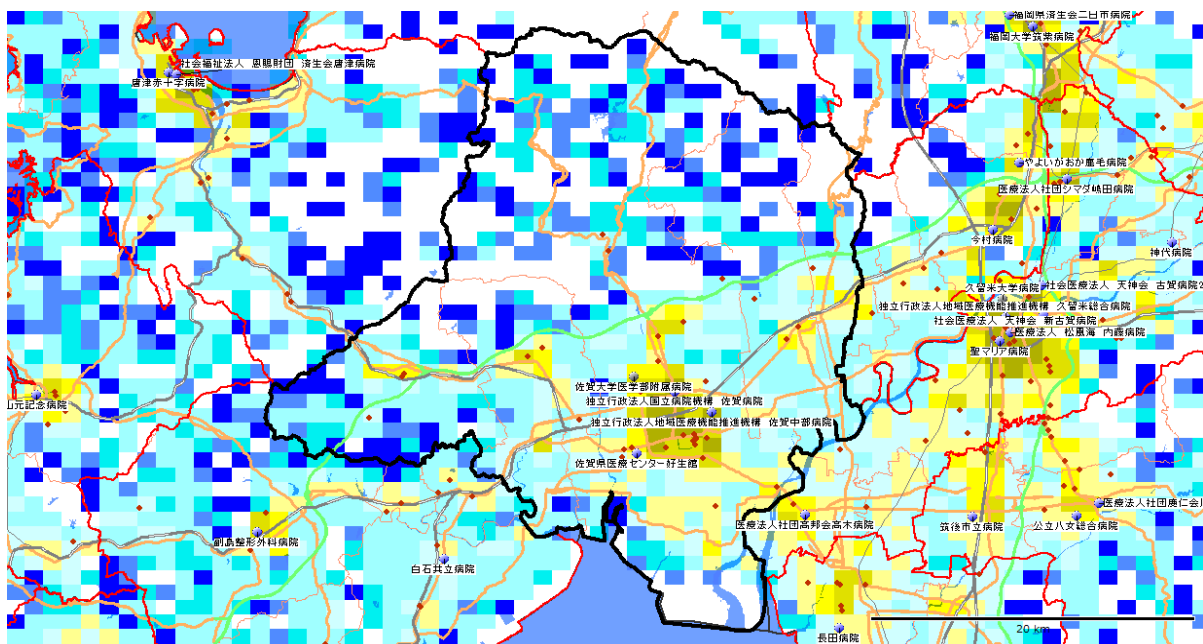
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
佐賀県	5,475	56	63	4,465	37	65	-1,010	-18%
中部	1,843	49	60	1,324	28	57	-519	-28%
東部	902	81	78	891	58	84	-11	-1%
北部	846	51	61	725	36	64	-121	-14%
西部	676	69	71	529	44	72	-147	-22%
南部	1,208	53	62	996	38	66	-212	-18%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 41-1. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村 [佐賀市](#) [多久市](#) [小城市](#) [神埼市](#)  
[吉野ヶ里町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口(1平方キロ)



### DPC病院



## (中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中部(佐賀市)は、総人口約349千人(2015年)、面積794km<sup>2</sup>、人口密度は439人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に335千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に306千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の47千人が、2025年にかけて58千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には63千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は429千円(偏差値67)、介護給付費は272千円(偏差値55)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数は1.93で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が64(病院医師数64、診療所医師数59)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の佐賀県医療センター好生館(Ⅱ群・救命)、佐賀大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、500例以上のJCHO佐賀中部病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,465人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,854床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,611床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,412人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム44、軽費ホーム48、グループホーム58、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、477人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (中部医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年359,589人が、2015年に348,633人と3%減少し、2025年の人口が334,637人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

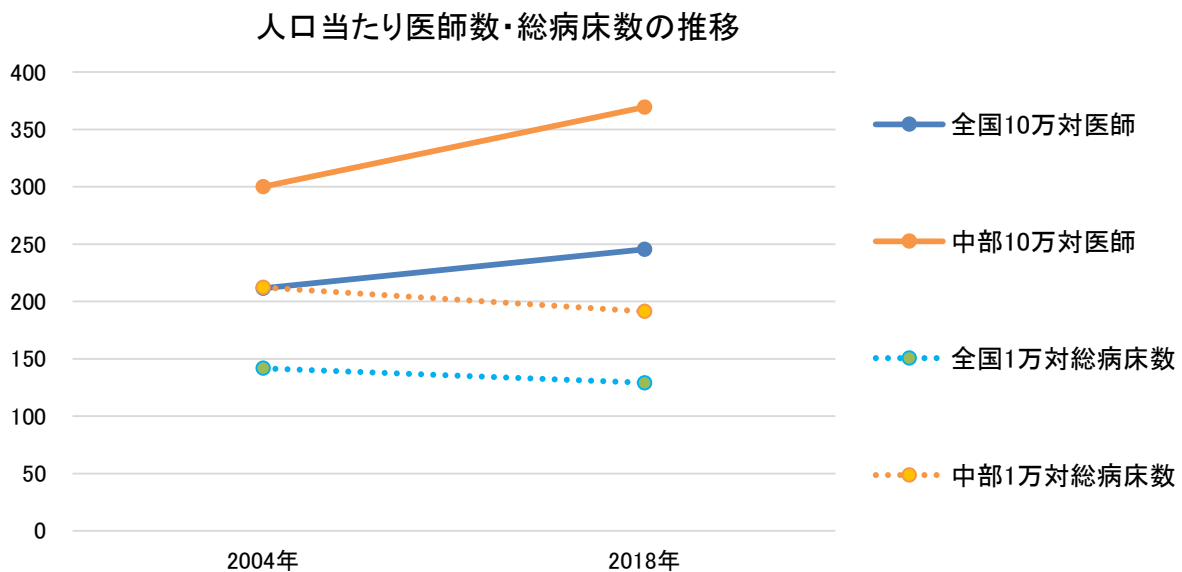
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が39(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2018年に39(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.6)偏差値62)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が308(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2018年に308(人口10万人当たり88診療所(全国平均80)偏差値54)と、増減がなかった。

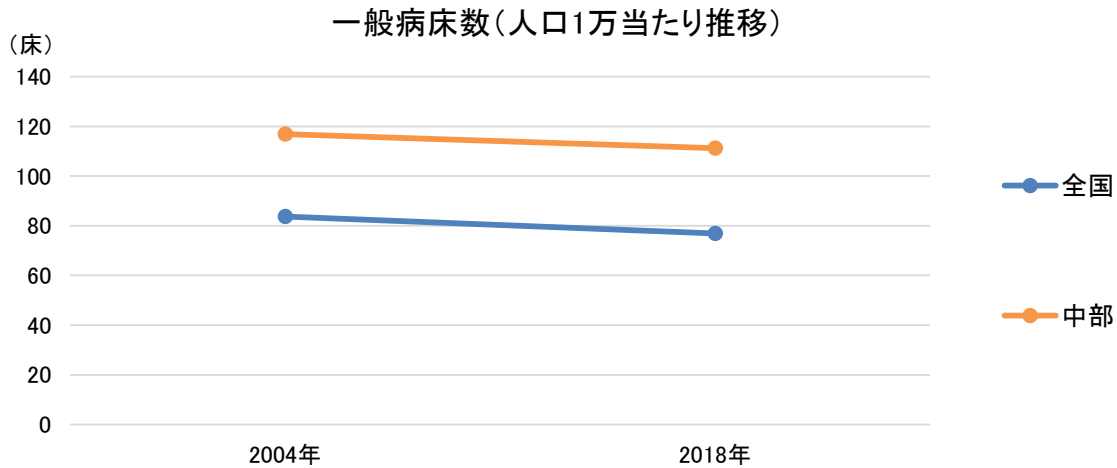
2004年の総病床数が7,632床(人口1万人当たり212(全国平均142)偏差値63)であったが、2018年に6,674床(人口1万人当たり191(全国平均129)偏差値62)と、958床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,079人(人口10万人当たり300人(全国平均212人)偏差値61)であったが、2018年に1,288人(人口10万人当たり369人(全国平均245人)偏差値64)と、209人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



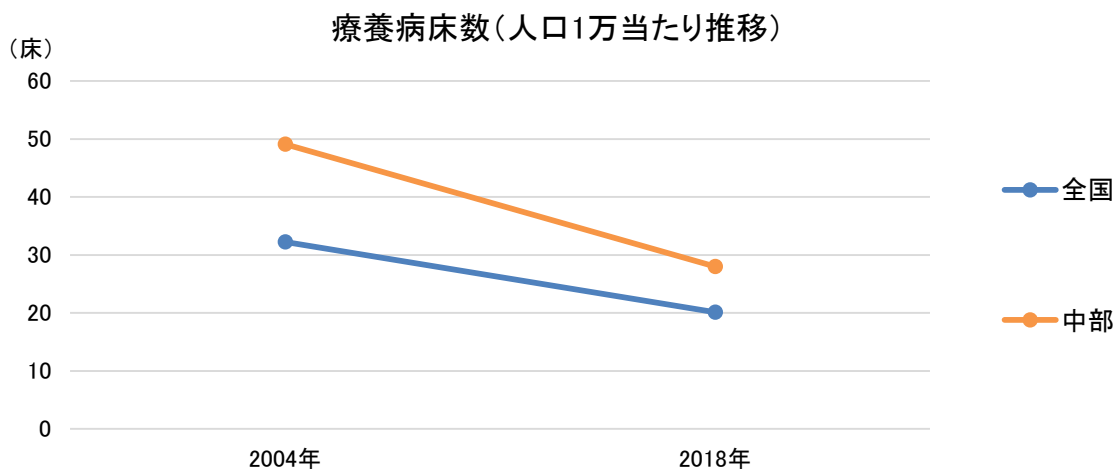
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,203床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2018年に3,876床(人口1万人当たり111(全国平均77)偏差値63)と、327床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



## 【療養病床の推移】

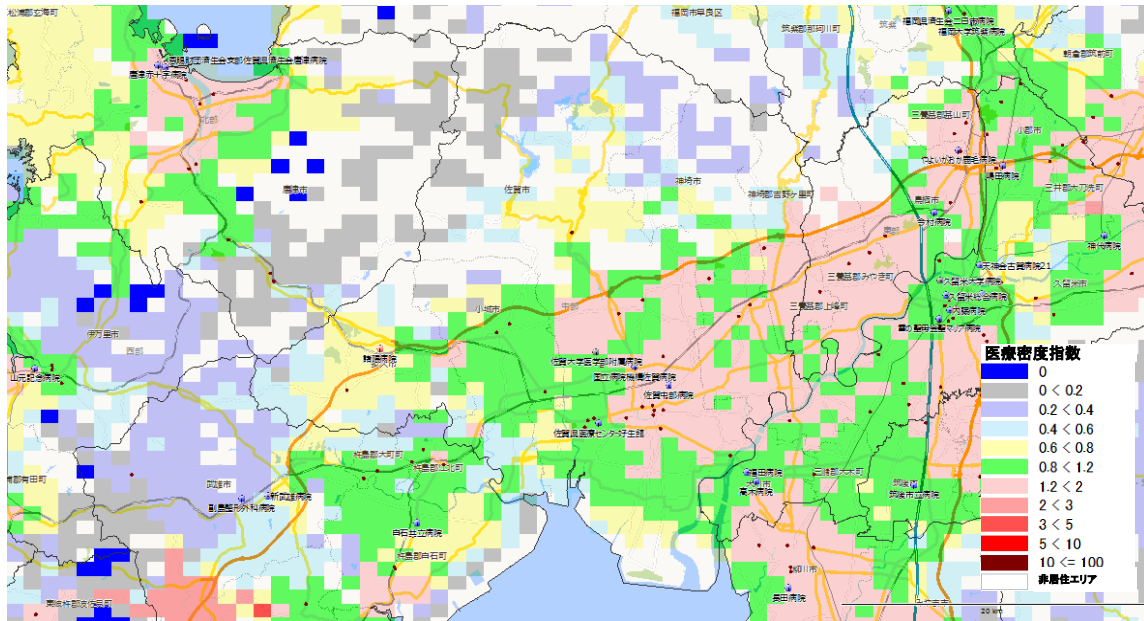
2004年の療養病床(病院+診療所)が1,843床(75歳以上1,000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2018年に1,324床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均20)偏差値57)と、519床の減少、率にして28%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。





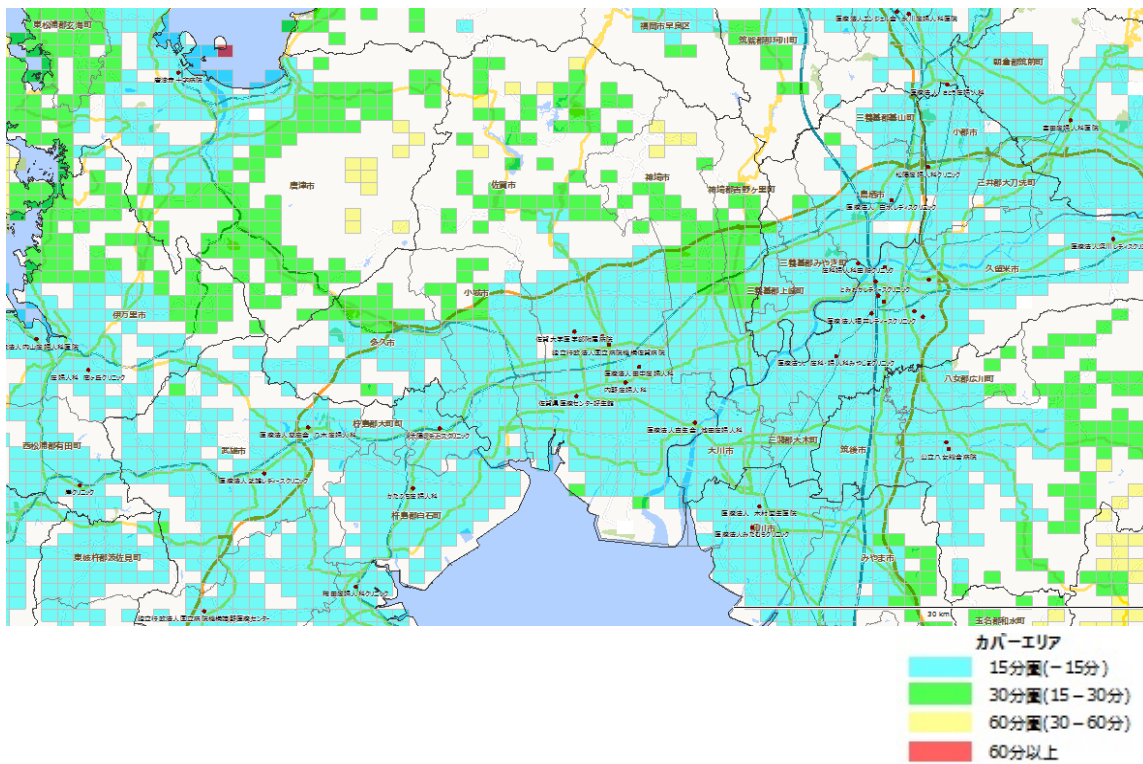
(中部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表41-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )





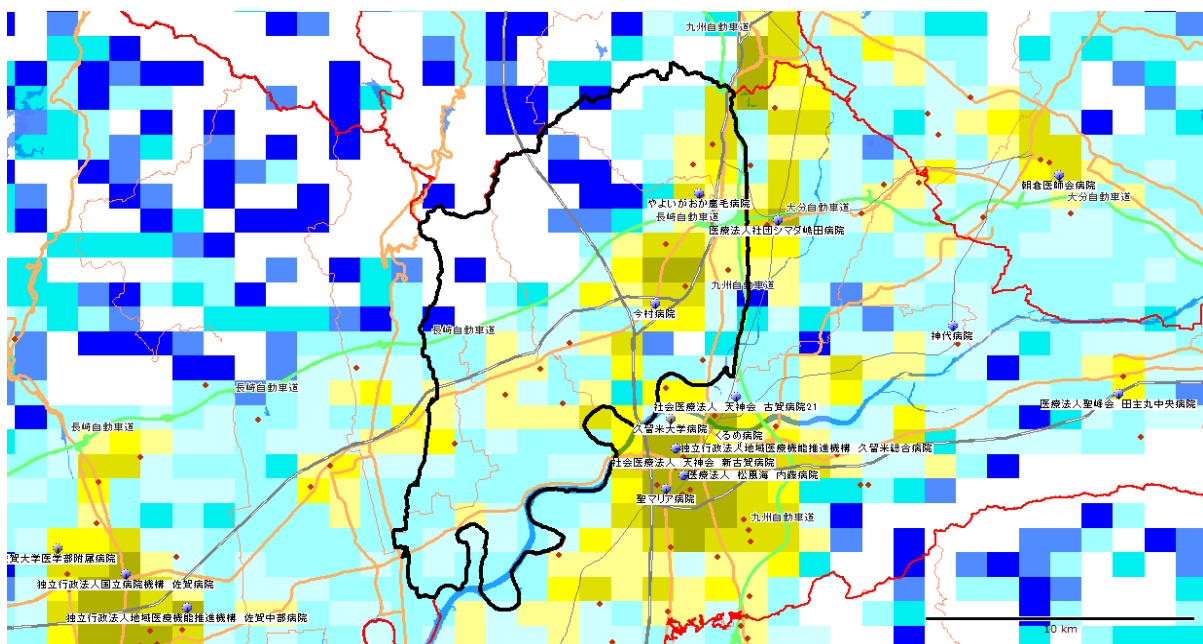
# 41-2. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村

[鳥栖市](#)[基山町](#)[上峰町](#)[みやき町](#)

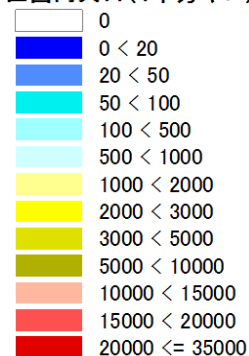
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口 (1平方キロ)



### DPC病院



## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(鳥栖市)は、総人口約125千人(2015年)、面積159km<sup>2</sup>、人口密度は788人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に125千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に118千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には23千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は472千円(偏差値76)、介護給付費は240千円(偏差値46)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数は1.35、一人当たり慢性期医療密度指数は1.69で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数40、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。東部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は72と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値90と非常に多く、回復期病床数は偏差値65と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,847人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が865床(偏差値46)、高齢者住宅等が982床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,379人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム52、軽費ホーム59、グループホーム86、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値74と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値73と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、144人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (東部医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年119,859人が、2015年に124,964人と4%増加し、2025年の人口が124,843人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

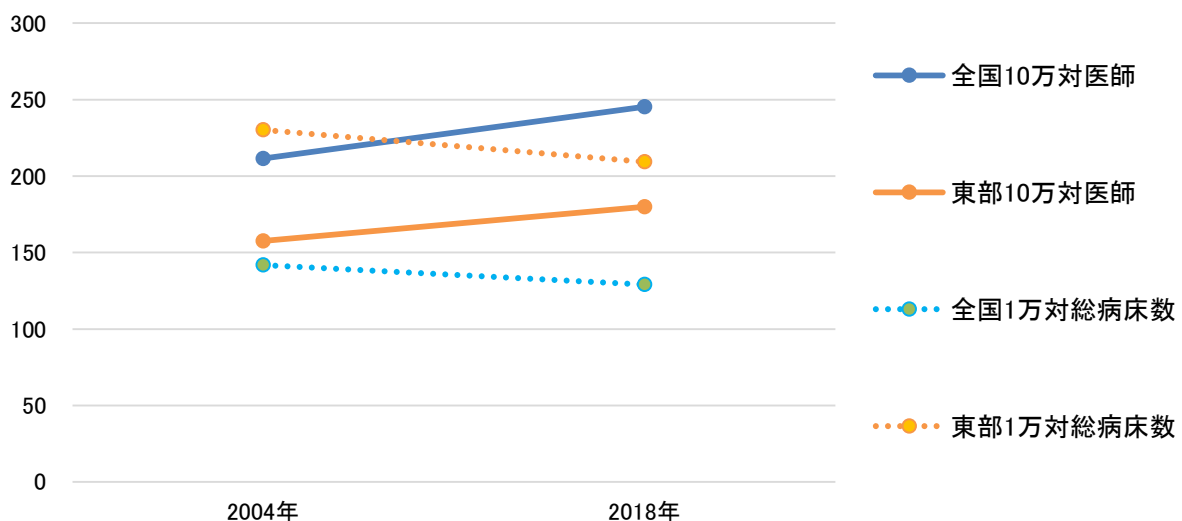
2004年の病院数が14(人口10万人当たり11.7病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2018年に13(人口10万人当たり10.4病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が99(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に107(人口10万人当たり86診療所(全国平均80)偏差値53)と、8診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,760床(人口1万人当たり230(全国平均142)偏差値66)であったが、2018年に2,617床(人口1万人当たり209(全国平均129)偏差値65)と、143床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

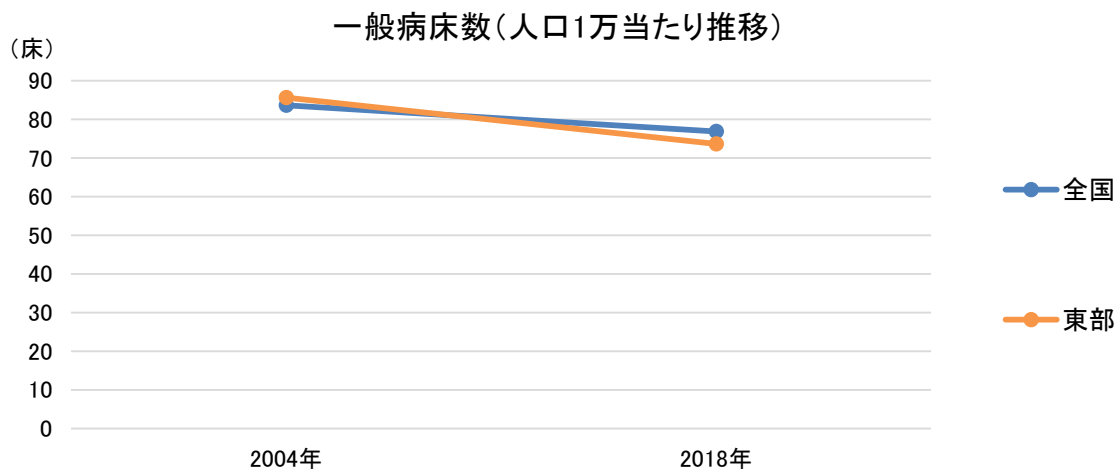
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が189人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に225人(人口10万人当たり180人(全国平均245人)偏差値43)と、36人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



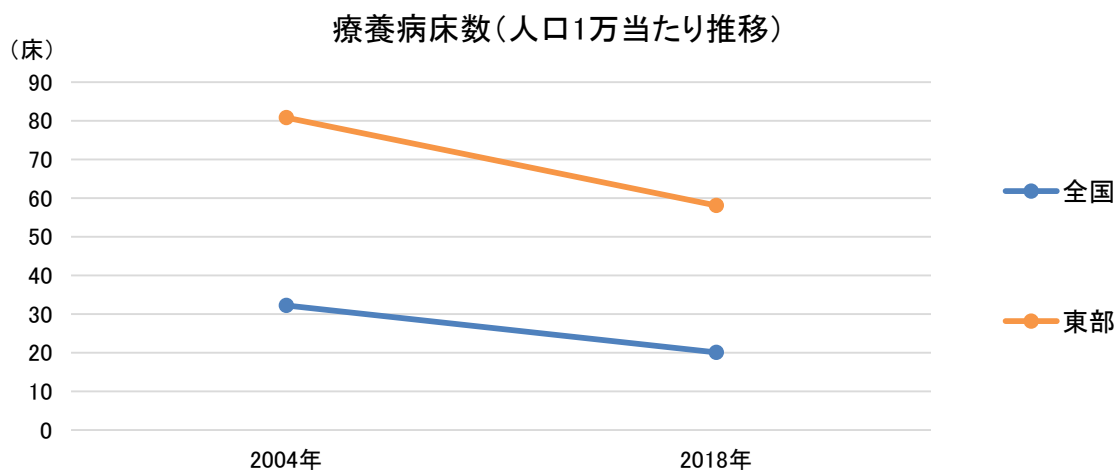
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,026床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に920床(人口1万人当たり74(全国平均77)偏差値49)と、106床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



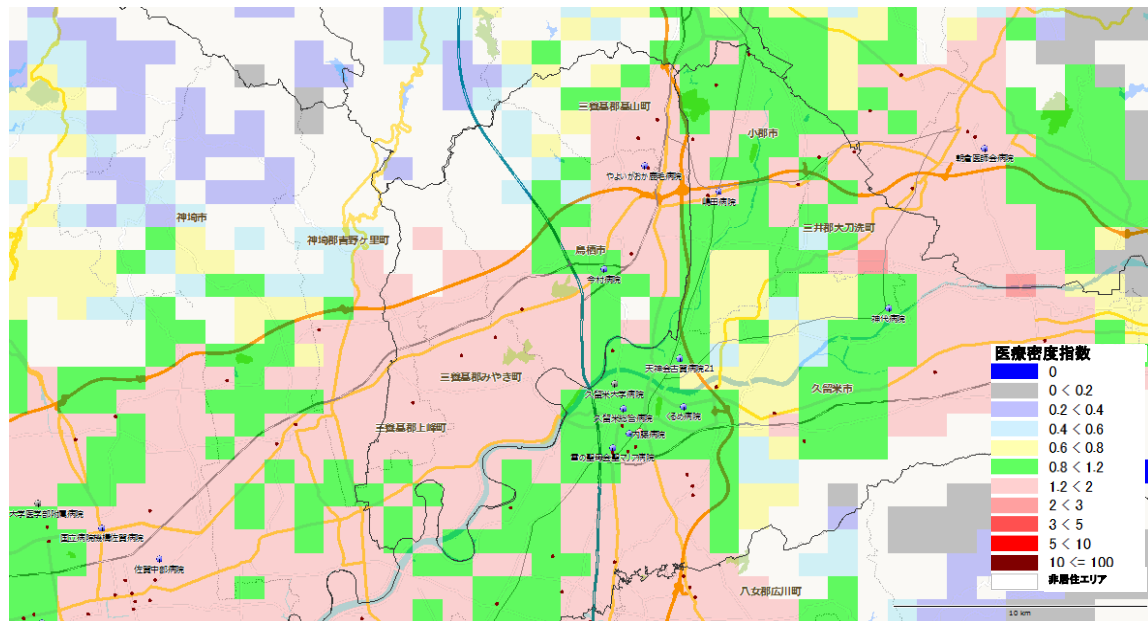
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が902床(75歳以上1,000人当たり81(全国平均32)偏差値78)であったが、2018年に891床(75歳以上1,000人当たり58(全国平均20)偏差値84)と、11床の減少、率にして1%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



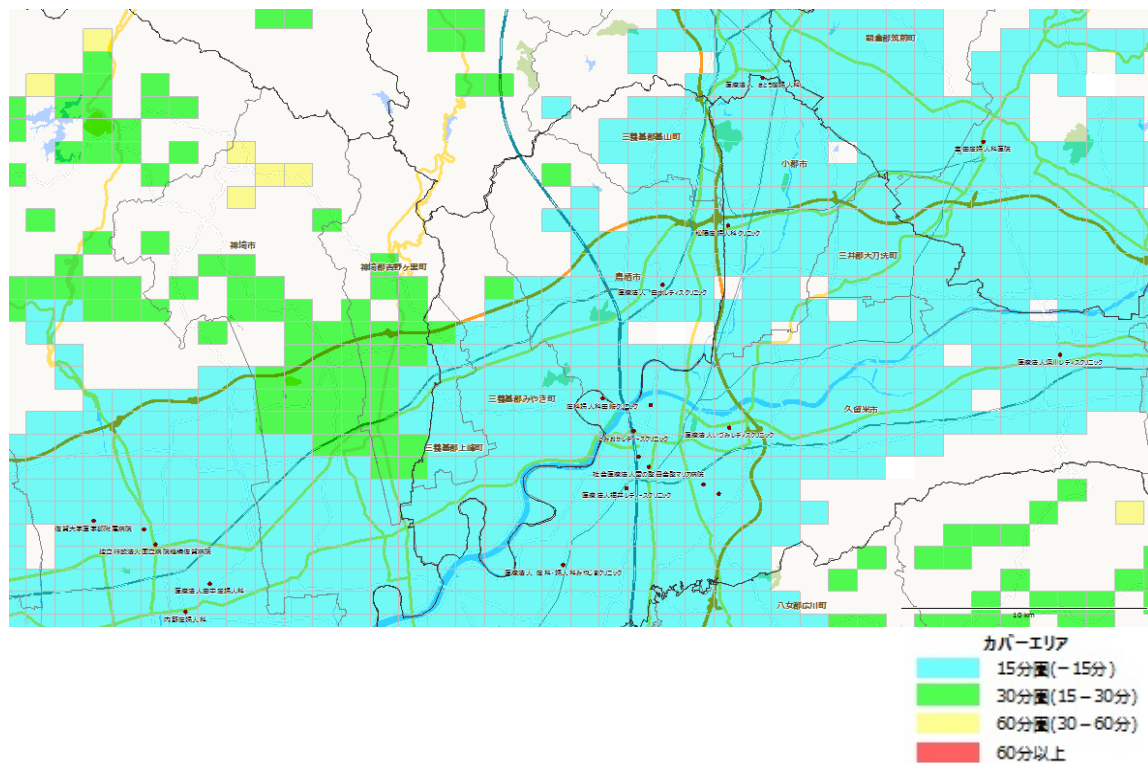
## (東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表41-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

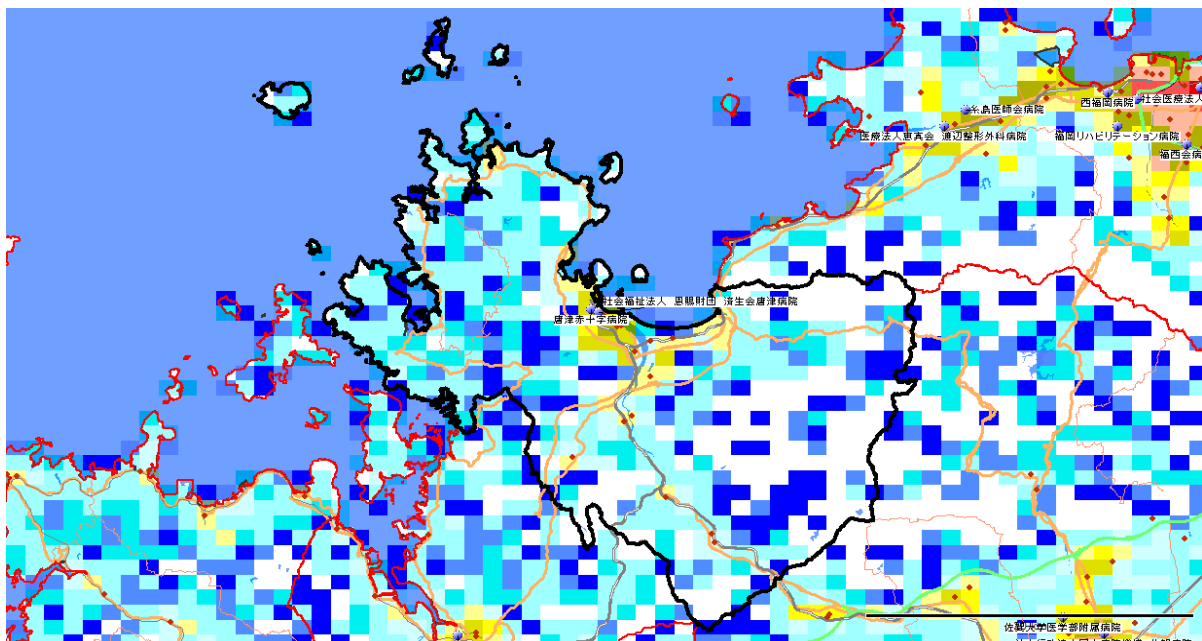


# 41-3. ほくぶ 北部医療圏

構成市区町村 [唐津市](#) [玄海町](#)

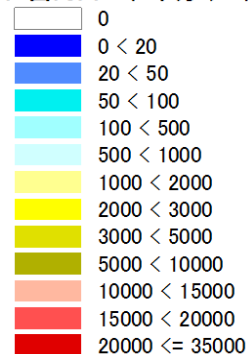
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北部(唐津市)は、総人口約129千人(2015年)、面積524km<sup>2</sup>、人口密度は246人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に118千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に99千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて23千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には24千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は409千円(偏差値62)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.97、一人当たり慢性期医療密度指数は2.82で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数48、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。北部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の唐津赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の済生会唐津病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は60で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,858人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,231床(偏差値50)、高齢者住宅等が627床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,103人(75歳以上1,000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム68、サ高住なし(偏差値30)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、120人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (北部医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年137,854人が、2015年に128,687人と7%減少し、2025年の人口が117,546人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

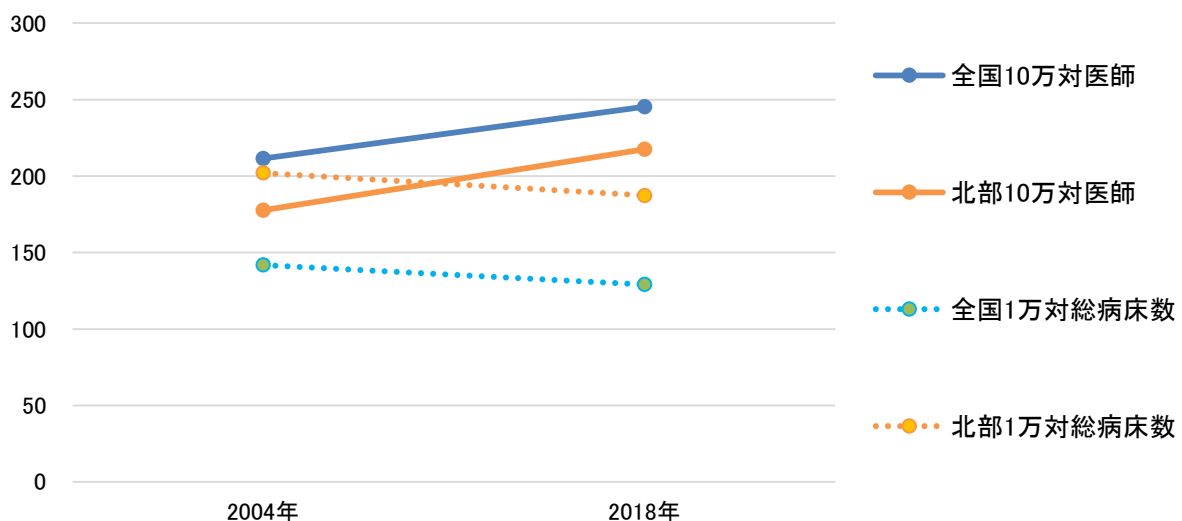
2004年の病院数が19(人口10万人当たり13.8病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2018年に18(人口10万人当たり14病院(全国平均6.6)偏差値69)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が111(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2018年に100(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,786床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に2,411床(人口1万人当たり187(全国平均129)偏差値61)と、375床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が245人(人口10万人当たり178人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に280人(人口10万人当たり218人(全国平均245人)偏差値47)と、35人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

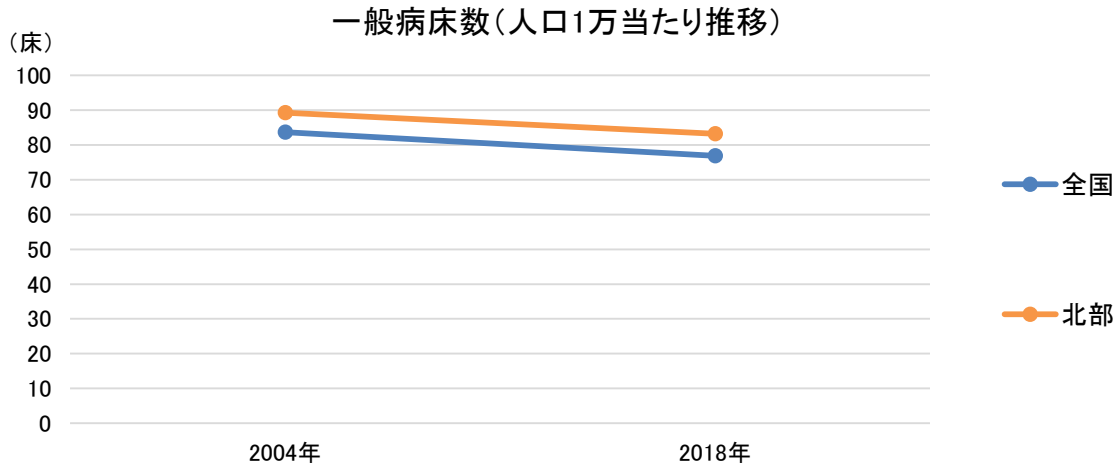
人口当たり医師数・総病床数の推移





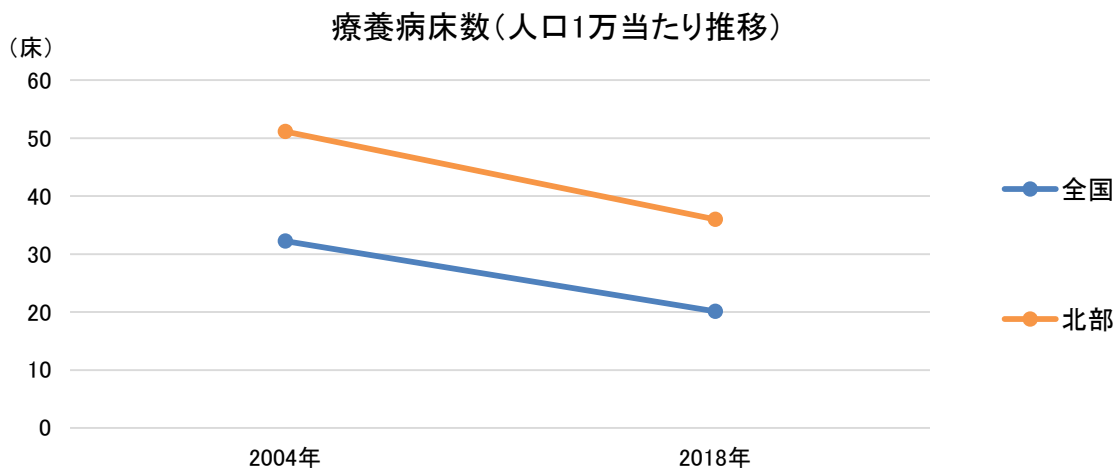
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,230床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に1,071床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、159床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



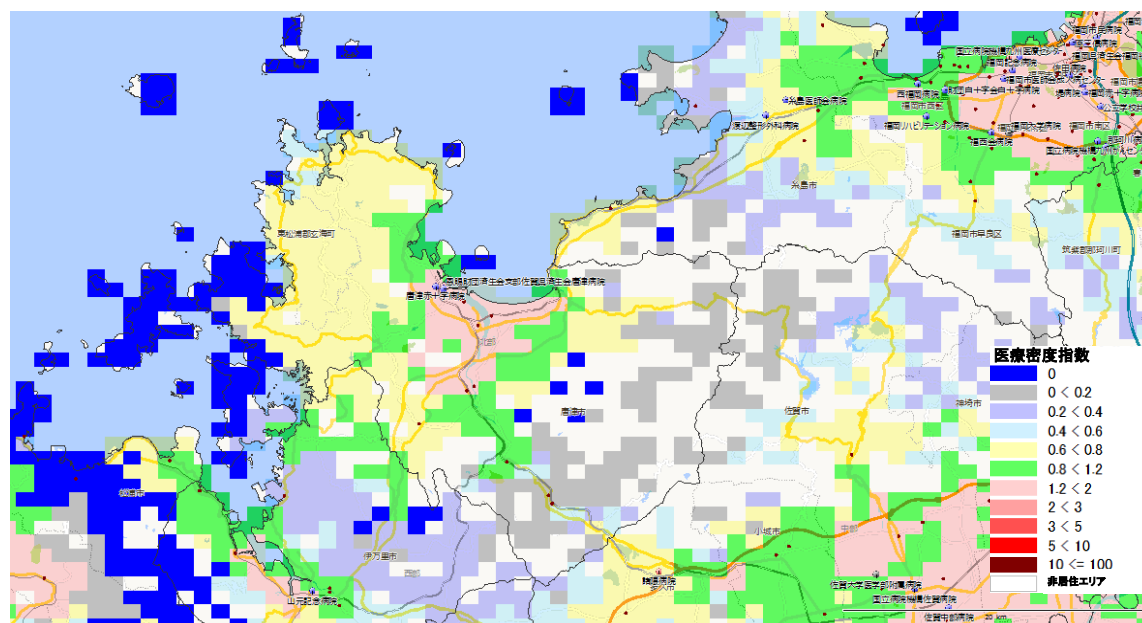
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が846床(75歳以上1,000人当たり51(全国平均32)偏差値61)であったが、2018年に725床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均20)偏差値64)と、121床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



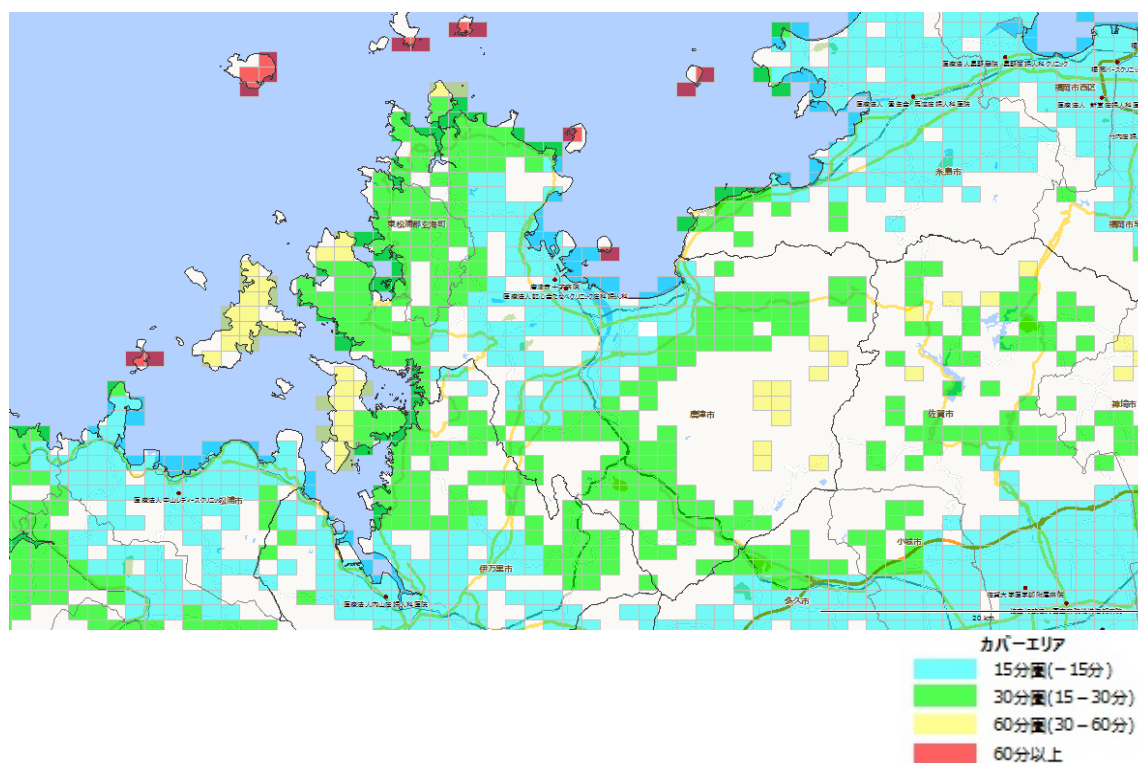
(北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表41-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

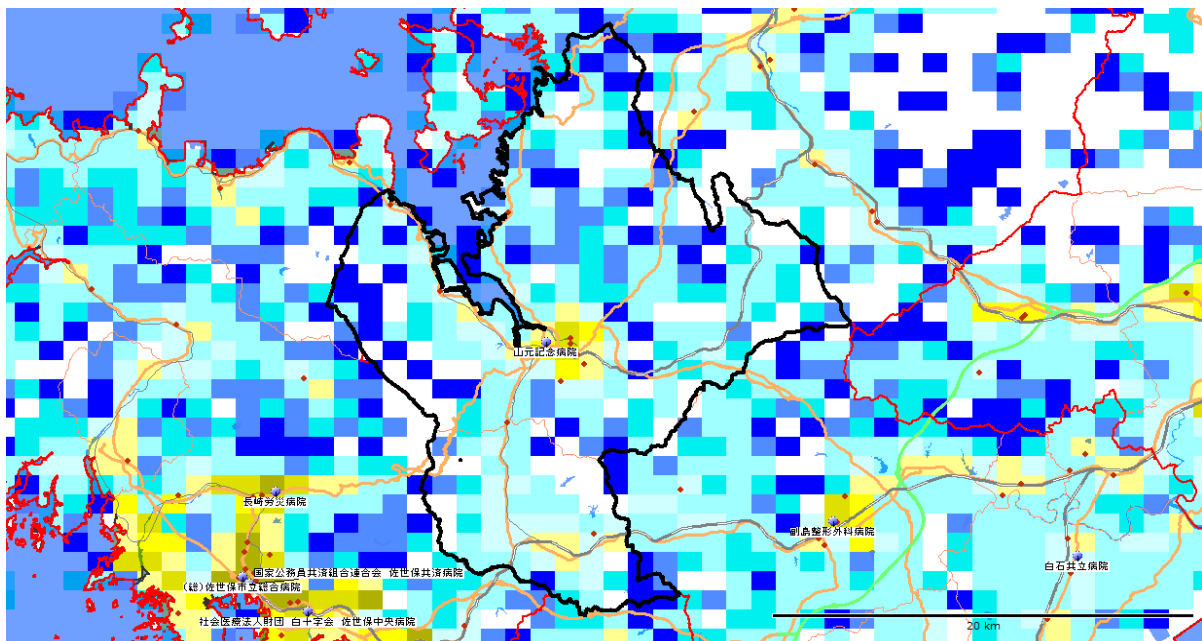


# 41-4. せいぶ西部医療圏

構成市区町村 [伊万里市](#) [有田町](#)

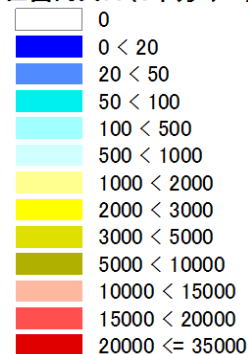
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(伊万里市)は、総人口約75千人(2015年)、面積321km<sup>2</sup>、人口密度は235人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に69千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に58千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には14千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は421千円(偏差値65)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数は2.5で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は65と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,053人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が718床(偏差値49)、高齢者住宅等が335床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,145人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設68、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住31である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、89人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (西部医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年79,760人が、2015年に75,386人と5%減少し、2025年の人口が68,830人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

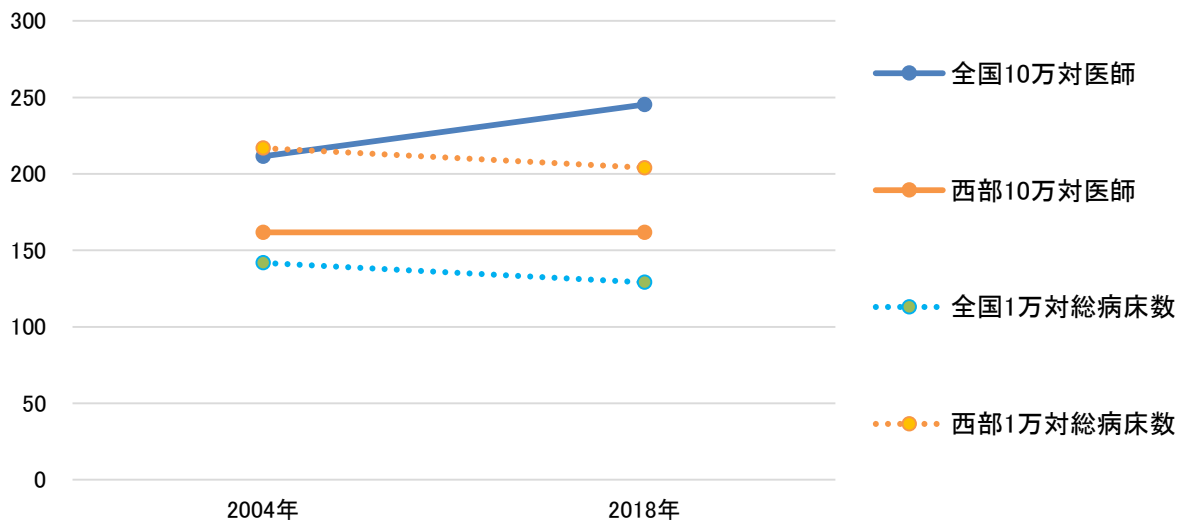
2004年の病院数が14(人口10万人当たり17.6病院(全国平均7.1)偏差値77)であったが、2018年に11(人口10万人当たり14.6病院(全国平均6.6)偏差値70)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が50(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2018年に60(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、10診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,730床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値63)であったが、2018年に1,538床(人口1万人当たり204(全国平均129)偏差値64)と、192床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

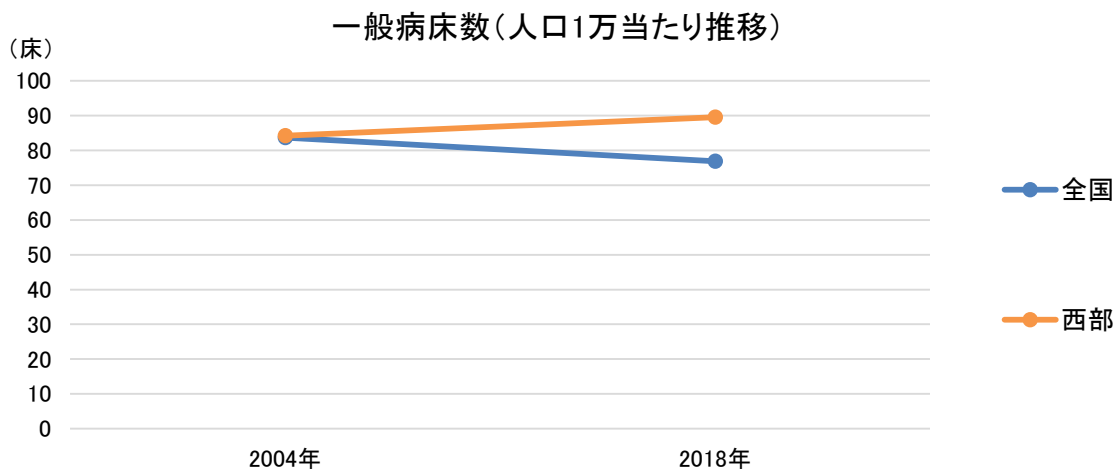
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が129人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2018年に122人(人口10万人当たり162人(全国平均245人)偏差値41)と、7人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



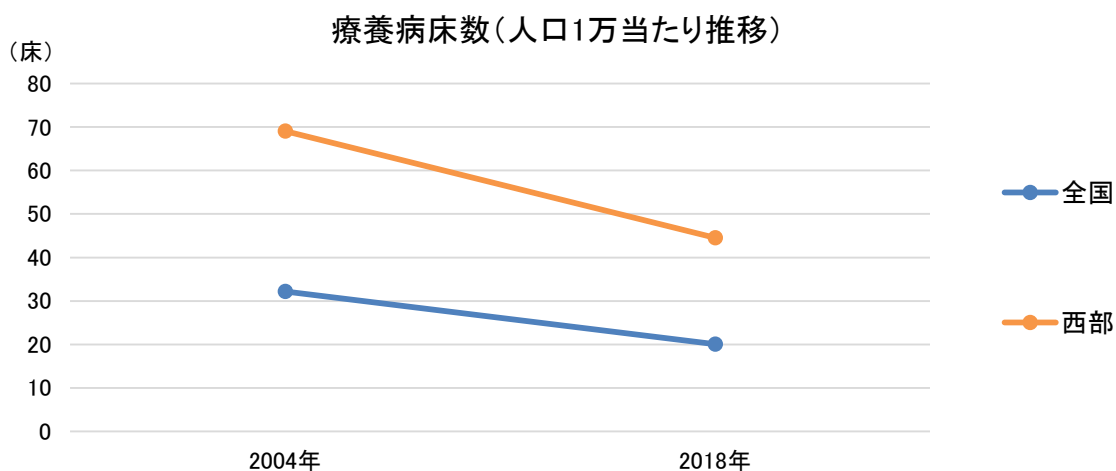
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が672床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に675床(人口1万人当たり90(全国平均77)偏差値55)と、3床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



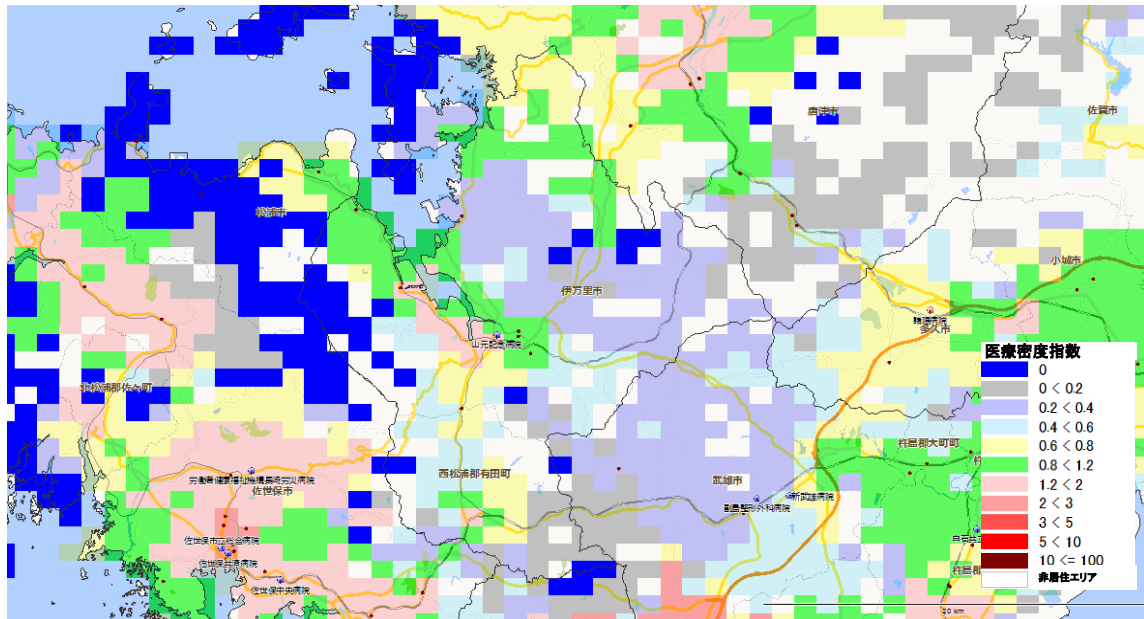
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が676床(75歳以上1,000人当たり69(全国平均32)偏差値71)であったが、2018年に529床(75歳以上1,000人当たり44(全国平均20)偏差値72)と、147床の減少、率にして22%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



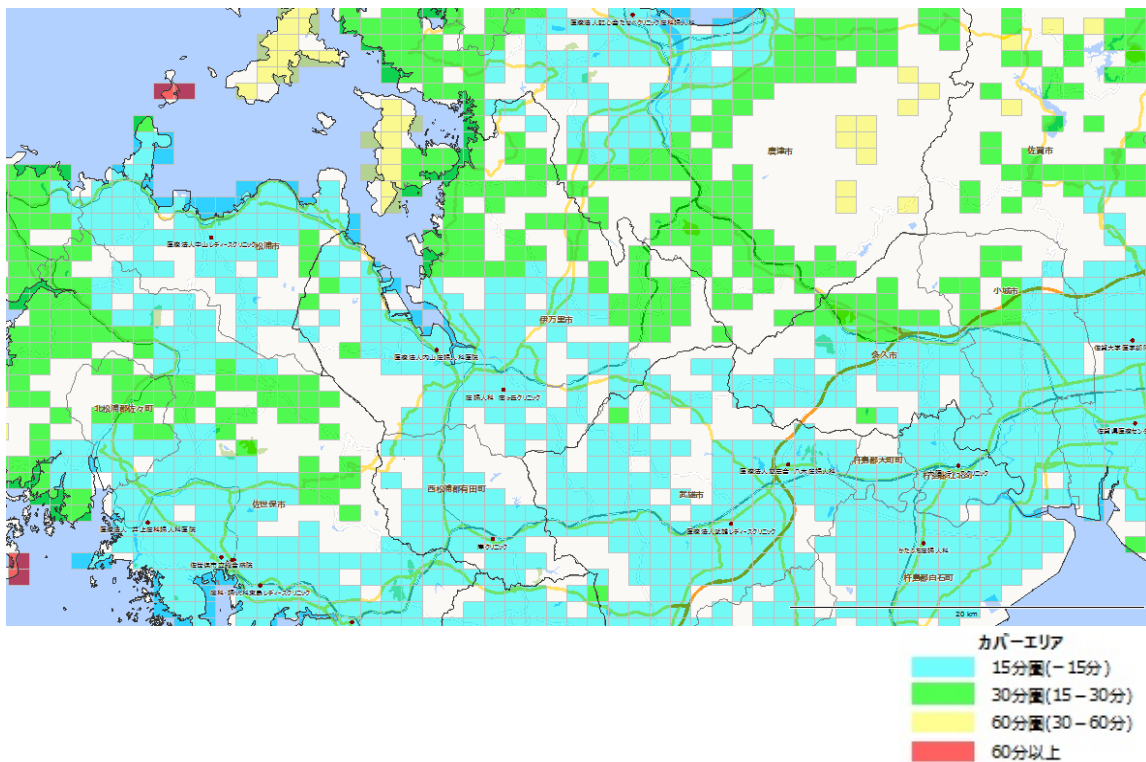
## (西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表41-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



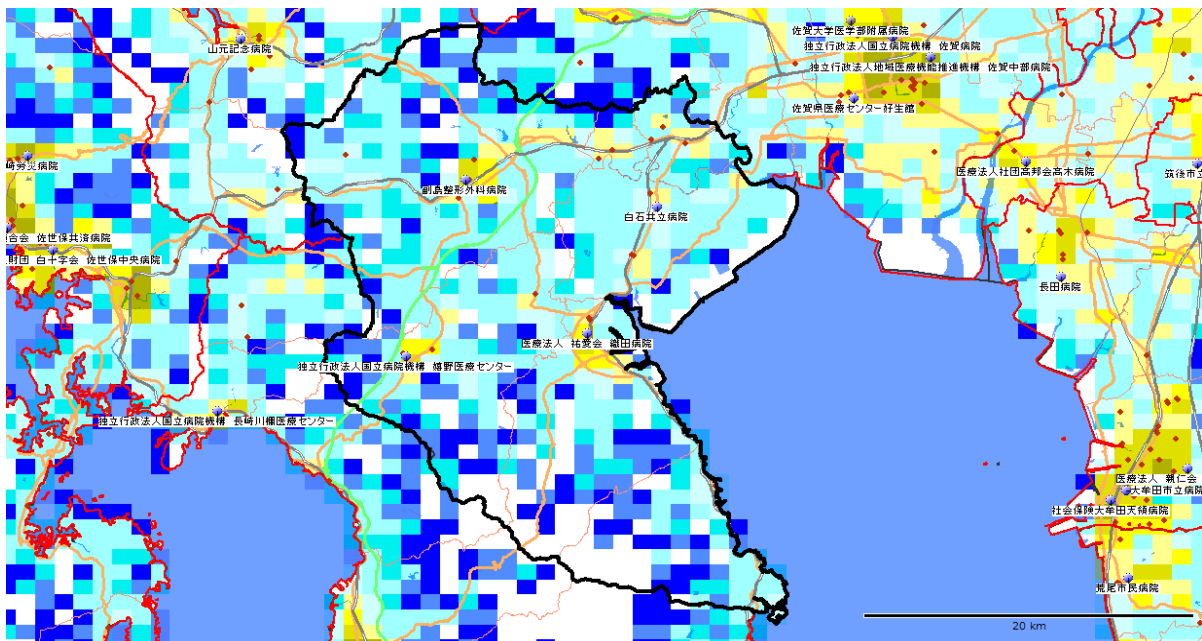


# 41-5. なんぶ南部医療圏

構成市区町村 [武雄市](#) [鹿島市](#) [嬉野市](#) [大町町](#)  
[江北町](#) [白石町](#) [太良町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院





## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南部(武雄市)は、総人口約155千人(2015年)、面積644km<sup>2</sup>、人口密度は241人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に139千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に115千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には30千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は438千円(偏差値69)、介護給付費は301千円(偏差値64)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数は1.87で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は72と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。南部には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNHQ嬉野医療センター(Ⅲ群・救命)、500例以上の新武雄病院(Ⅲ群)、副島整形外科病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は67と療養病床数は非常に多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,373人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,785床(偏差値55)、高齢者住宅等が588床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,331人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設76、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住30である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、170人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年169,307人が、2015年に155,162人と8%減少し、2025年の人口が138,933人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

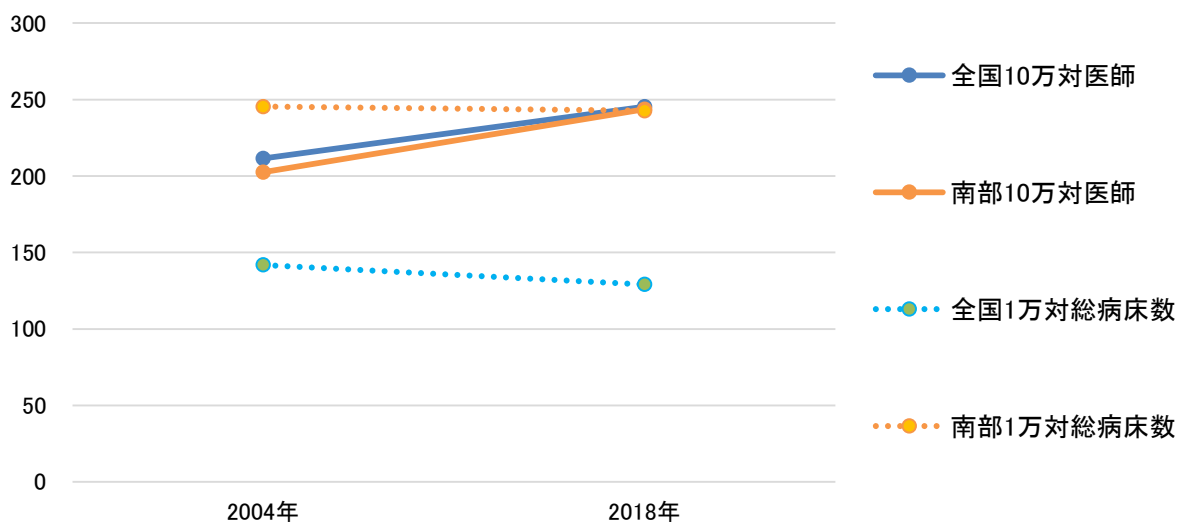
2004年の病院数が26(人口10万人当たり15.4病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2018年に22(人口10万人当たり14.2病院(全国平均6.6)偏差値69)となり、14年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が110(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に114(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,155床(人口1万人当たり245(全国平均142)偏差値69)であったが、2018年に3,765床(人口1万人当たり243(全国平均129)偏差値71)と、390床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

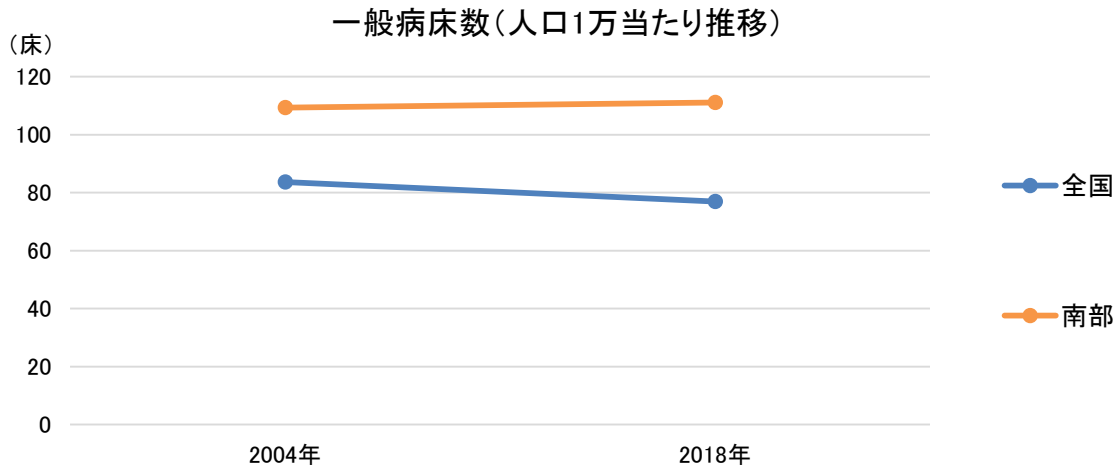
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が343人(人口10万人当たり203人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に378人(人口10万人当たり244人(全国平均245人)偏差値50)と、35人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



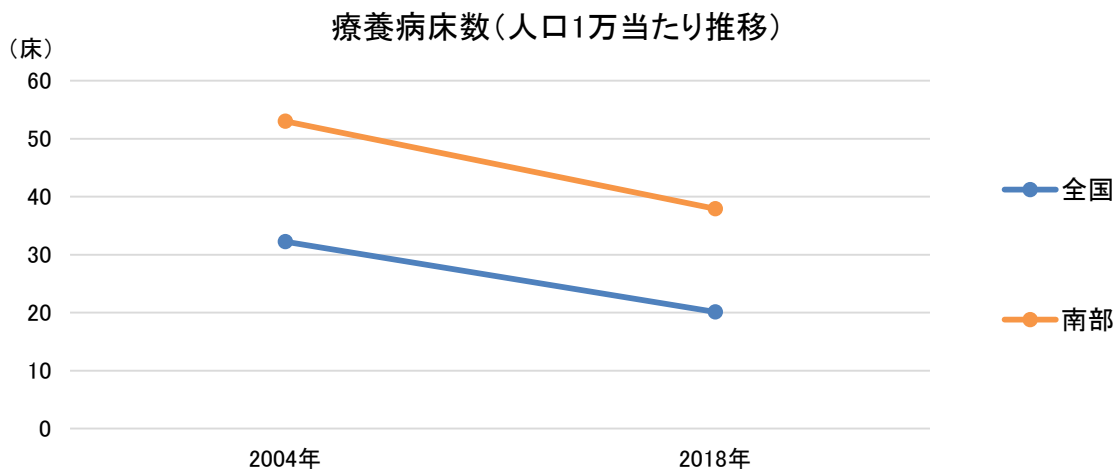
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,850床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2018年に1,724床(人口1万人当たり111(全国平均77)偏差値63)と、126床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



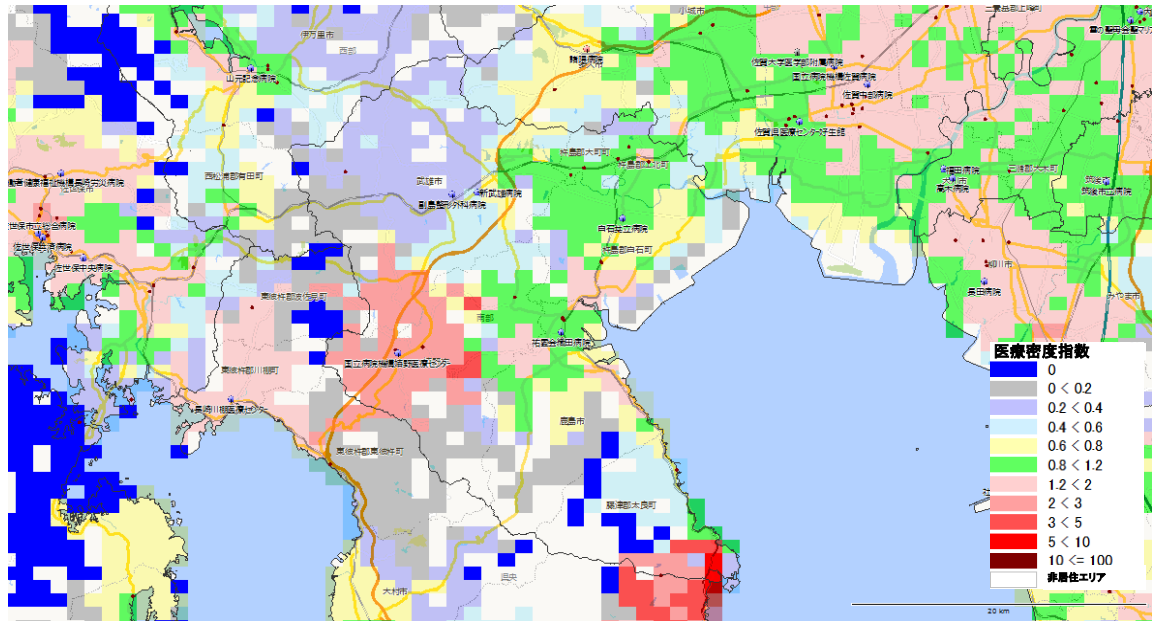
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,208床(75歳以上1,000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2018年に996床(75歳以上1,000人当たり38(全国平均20)偏差値66)と、212床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表41-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表41-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

